

連日猛暑の日々が続く8月7日、西公会堂で開催した第1回学校説明会に、1,000名を越す中学生および保護者の方々がおいでくださいました。改めて感謝申し上げます。この場であいさつさせていただいた内容は次のとおりです。

本日は、暑い中、光陵高等学校説明会においでいただきどうもありがとうございます。

本日、おいでいただいている中学生の皆さんは、21世紀に生まれ、まさしく21世紀を生きていく方々です。現代は、変化のスピードが速く、先の読めない時代です。人口減少、少子高齢化、グローバル化に加え、AIと呼ばれる人工知能の発展が著しく、多くの仕事が、コンピュータやロボットにとって代われるとも言われています。私たちの生活スタイルも大きく変わっていくことでしょう。このような時代を生きる皆さんには、何が求められているのでしょうか。

未来を予測することが困難な、このような時代にあって、光陵高校は、

「心やさしき社会のリーダー」

を育てます。

今の社会において、たった一人で何かをすることはまずありません。基本的な知識、いわゆる学力と呼ばれるものはもちろん必要です。しかし、それだけで生きていくことは難しいでしょう。

自分のもっている能力、スキル、専門性を生かしながら、他者と力を合わせて物事に対処する力が求められているのではないのでしょうか。

さて、人間にできてAIにはできないこと、それは何だと思えますか。AIは与えられた問いに対して答えを出すことはできます。ビッグデータと呼ばれる膨大なデータを分析して最適なものを探さだしてあげることがとっても得意だからです。しかし、AIには問いを立てることはできません。社会の中で、問いを立てること、そしてそれを解決していくこと、つまり物事を探究していくことは、これからもっともっと求められる力と言えるでしょう。

光陵高校は、県内で唯一、横浜国立大学教育学部附属横浜中学校との「連携型中高一貫教育校」であり、「学力向上進学重点校エントリー校」です。また、「教育課程研究開発校」でもあります。こうした光陵高校ならではの強みを活かし、様々な教育活動をとおして、「心やさしき社会のリーダー」を育成していきます。光陵高校の生徒たちには、「心やさしき社会のリーダー」として、コンピュータやロボットと共存しつつ、「人」を大切にすることを実現してほしいと思えます。

本日は、これから、自慢の生徒たちが、光陵高校のことを紹介します。光陵高校というリアルな空間で、生徒たちがどのように学び、どのように成長しているのか、その姿を見ていただければと思えます。

光陵われをつくり われら光陵をつくる

校歌の一節です。ともに、光陵をつくる仲間として、来年の春、皆さんをお迎えできること

を願っています。 ありがとうございました。

説明会では、生徒会長の本音の話の他、今年の卒業生が3年間の高校生活を紹介してくれました。また、生徒会、演劇部の生徒たちがオリジナル脚本に沿って、演劇仕立ての演出で、光陵高校の良さを表現してくれました。光陵高校の魅力を、生徒たちを通して多くの方々に知っていただくことができたことを、心からうれしく思います。来場者のアンケートでも、こうした生徒や卒業生による学校紹介は大好評でした。第2回（11月9日）、第3回（12月7日）の学校説明会は学校で開催いたします。是非、こちらにもお越しください。